

平成26年第4回(6月)

西原町議会定例会

一般質問通告

質問日	質問議員		
6月13日(金) 4人	①呉屋 悟	②宮里 芳男	③与那嶺 義雄
	④仲松 勤		
6月16日(月) 5人	⑤大城 誠一	⑥宮城 秀功	⑦大城 好弘
	⑧喜納 昌盛	⑨前里 光信	
6月17日(火) 4人	⑩上里 善清	⑪有田 力	⑫大城 清松
	⑬長浜 ひろみ		
6月18日(水) 4人	⑭城間 義光	⑮伊礼 一美	⑯伊波 時男
	⑰仲宗根 健仁		

一般質問通告内容（平成26年第4回定例会）

質問者	呉屋悟議員	質問の相手
1 町政運営について	<p>(1) 施政方針で示された本年度の主な事業</p> <p>ア. 「(仮称)琉球大学との包括連携に向けた協定書締結」の進捗状況。</p> <p>5月28日付沖縄タイムス・琉球新報両紙で、「琉球大学附属病院と医学部が西普天間地区に移転」との記事が掲載された。包括連携に影響はないのか懸念する。</p> <p>イ. 「南小学校区への三世代交流施設建設用地取得及び基本設計委託事業」の進捗状況。</p> <p>(2) 重度身体障害者タクシー助成事業の存続を</p> <p>「障がい者が1人でまちを歩き、その空気を肌で感じて自由に生きたい。目的地まで車で送迎するだけなら点字ブロックや音響案内など、まちをバリアフリー化する必要はない。」との貴重な指摘を受けた。重度身体障害者タクシー助成事業はまさに障がい者の自立を支援する制度であり、県内で初めて導入した本町は誇りとすべき事業である。毎年の予算減額を懸念する。当局の考えは。</p>	町長 町長
2 住環境整備について	<p>(1) 呉屋区内にある石獅子の通路整備</p> <p>呉屋区が大事にしている文化財であるが、御願する人達も高齢化し、通路整備が必要である。対策を講じることとはできないか。</p> <p>(2) 去る5月27日に相談した小波津区内の里道整備。</p> <p>生活道路となっている里道だが、未整備で排水溝もなく雨降りは水がたまる状況である。</p>	教育委員長 町長
3 継続質問	<p>(1) 米軍基地の所在しない市町村協議会</p> <p>ア. 最近の騒音被害悪化に対する当局の対策は。</p> <p>イ. 米軍の騒音被害測定は行っているか。</p> <p>ウ. 基地ない市町村協議会は、機能しているのか。</p>	町長

	(2) 入札の総合方式の導入	町 長
	(3) 公契約条例の導入	町 長
	(4) 琉球史の授業導入	教育委員長
質 問 者	宮 里 芳 男 議 員	質問の相手
1 民生委員・児童委員について	<p>5月12日は「民生委員・児童委員の日」で県内の定員に占める人員の充足率80%から90%前後で推移し、全国平均と比較して大幅に差があり全国最下位である。2013年12月1日現在、県内定員数は2,348人で実際には1,966人で充足率83.7%、全国の充足率は97.1%で沖縄県が最も低い状況である。そこで西原町の状況を伺います。</p> <p>(1)平成25年度、26年度の民生委員・児童委員数を伺います。</p> <p>(2)5月12日から18日までは民生委員・児童委員の活動強化週間となっていたが、町としてどのような取り組みを行ったのか伺います。</p> <p>(3)他市町村とも比較しての割合と順位等を伺います。</p> <p>(4)今後の取り組み状況について伺います。</p>	町 長
2 農産物直売所について	<p>3月定例会において「農産物直売所の候補地6箇所の中から総合的に判断し、優先順位を付け絞り込みを進めている。又、農産物の生産量等の現状や今後の新規就農者の育成状況を踏まえていく」と、答弁されましたが</p> <p>(1)検討委員会で総合的に判断し、設置場所の決定をされたのか伺います。</p> <p>(2)新規就農者の育成状況を伺います。</p>	町 長
3 尚円王生誕600周年記念事業について	<p>尚円王生誕600周年記念事業は検討委員会の中で、議論・検討し実施内容を決めていくとの事でした。</p> <p>(1)進捗状況を伺います。</p>	教育委員長

質問者	与那嶺義雄議員	質問の相手
1 「地域活動支援センターさんさん」の今後の事業展開について	<p>これまで、精神に障がいのある人々への生活や就業を支援する「地域活動支援センターさんさん」の事業を町から受託してきた「NPO 法人さわふじ」が、結成8年にして3月末に組織を解散した。この件に関しては、さる3月議会でも一般質問で取り上げた。私の見解では、もう少し行政が支援センターを利用する町民や事業を受託する「NPO 法人さんさん」に寄り添うことができたならば、事業の中断という事態は避けることができた。</p> <p>(1) さる5月の段階で、まだ次期事業の受託先が決まらないという事だが、その原因はどこにあるのか。</p> <p>(2) 事業中断による利用者への影響をどのように考えているのか。</p>	町 長
2 旧役場庁舎の一部活用について	<p>新庁舎等複合施設建設の資金計画では、旧役場庁舎の跡地は更地にし、売却処分する予定であるが、しかし旧庁舎の第3庁舎と第5庁舎は築15年未満で相当の床面積を有する。今後25年～30年は使用可能な行政財産だ。旧庁舎跡の全敷地を売却するのではなく、第3庁舎と第5庁舎敷地の一部を残し、今後の財政的事情が許すのであれば様々な利活用、(例えば商工業者や農業団体、福祉団体等)を考慮すべきではないだろうか。</p> <p>(1) いま第3庁舎及び第5庁舎と同様な施設を建設した場合に、おおよその建設費はどの程度になるか。</p> <p>(2) 新庁舎等複合施設の建設費は約37億円と認識しているが、最終的な建設費は。そのうち借入額・起債額はどの程度か。</p> <p>(3) 新庁舎等複合施設の建設に伴う今後の町財政に与える影響・負担はどの程度か、財政的な数値で示すとどうなるのか。</p>	町 長

<p>3 小中学校の就学援助費について</p>	<p>貧困や格差社会の問題を専門とする阿部彩氏が、その著「子どもの貧困Ⅱ—解決策を考える」の中で「子どもの貧困政策の大きな柱の一つが教育である。教育は、子どもの可能性を広げる未来への投資であり、貧困の連鎖を断つ希望である。」と述べている。格差社会の深化や非正規労働者の増加など、次の時代を背負うべき子供達や若者にとって、夢の描きにくい厳しい社会経済状況に直面している。私たちは改めて、町づくりの大きな柱の一つに教育をしっかりと位置づけるべきである。</p> <p>私が 2010（平成 22）年 3 月議会で、「子供の貧困 就学援助の拡充を」と一般質問をした。その時点では、09（平成 21）年度の受給率は県全体で 16%、2 万 3,700 人、西原町が 8.56%の 304 人。保護者への周知の方法や認定基準の緩和など利用しやすい仕組みの必要性を指摘した。</p> <p>今では、町教委の努力で年々受給率が向上し県平均までに達したと認識している。</p> <p>(1) 直近の 5 年間の受給率の動向は。</p> <p>(2) 4 年前の時点で専門家は、「該当する児童生徒（保護者）はその 2 倍は存在する」とのコメントがあった。今後とも、必要とする児童生徒がいれば支援の手を差し伸べる姿勢が大事。委員長の見解を。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>4 小中学校における学力格差の問題について</p>	<p>教育の専門家や文科省も、親の年収と子どもの学力にはかなりの相関関係があることを認めている。これまでは、例えば全国学力テストの結果をもとに市町村間や学校間の比較が問題視されがちであった。しかし今、子どもの貧困問題の観点から児童生徒の学力格差が大きくクローズアップされてきた。学力格差は小学校の早い段階からすでに発生しているとの専門家の指摘もある。</p> <p>(1) 本町の小学 6 年生及び中学 3 年生の段階で、どの程度の学力格差が認められるのか。</p> <p>(2) 特に経済的困難を抱える家庭に育つ子供たちの、極端な学力不足～中学、高校の段階の子どもたちにおいて、小学校低学年で習得しているはずである九九や簡単な算数ができていない状況～の報告もある。本町の小学 6 年生及び中学 3 年生にそのような傾向はないか。</p>	<p>教育委員長</p>

<p>5 坂田小の過密化対策について</p>	<p>ここ数年、坂田小学校の過密化対策について議論をしてきた。分離新設校や緊急を要する課題解決などを議論してきたが、実現したのは保護者の署名活動が実を結び教室のクーラー設置だけの印象が強い。坂田校区の将来人口の動向は、沖縄都市モノレールの浦西駅の開設や沖縄自動車道の幸地 I C 計画及び周辺地域の市街化計画を考慮するならば、町全体では人口逡減があるにしても、同校区の児童の減少の可能性は低いと考える。過密化対策の抜本策は分離新設だが、現在の過密化解消は喫緊の課題であることには変わりはない。</p> <p>(1) 現在推進している校舎の改築は、これまでの議論からすると現時点で不足する教室数の確保が主となるが、全学年での少人数学級を実施する場合に充分に対応できるのか。</p> <p>(2) 緊急を要する過密化対策として、3 年ほど前当時の学校長からソフト、ハード面からの要請書が提出された。現状は、その要請書の内容がどの程度改善され、さらなる取り組みが必要か。</p>	<p>教育委員長</p>
------------------------	--	--------------

質 問 者	仲 松 勤 議 員	質問の相手
<p>1 地域活性化の推進について</p>	<p>MICE の誘致について</p> <p>(1) 進捗状況はどの様になっていますか。</p> <p>(2) 候補地の選定について考慮すべき諸条件とは何ですか。</p> <p>(3) 他候補地の状況や優位性は何ですか。</p> <p>(4) 仮に MICE の誘致が出来なかった場合において、土地活用の提案はありますか。</p> <p>(5) 町公社所有のマリントウン地区の約 4000 坪の売却状況はどうなっていますか。</p> <p>(6) 旧「崎原土地改良地区」の土地活用状況は、どの様に進んでいますか。</p>	<p>町 長</p>

<p>2 充実した文教のまちづくりについて</p>	<p>(1)教育委員会の幼・保・学校教育等の一元化と、町長部局 においてのまちづくり一元化を求めている、機構改革を提 案致します。まず、生涯学習関係、文化・スポーツ、公 民館・自治公民館活動等を町長部局に分離移行し、教育 委員会は、学校教育や保育等に専念し、よりきめ細やか な教育推進を行う。学校現場等においては、学力問題や、 いじめ、事故または教師の精神的問題と課題は多岐に渡 る。更に、保育問題を含めた教育の一元化サービス体制 をつくるのが可能となる。町長部局に移管した生涯学 習関係、文化・スポーツ、公民館・自治公民館活動は、 まちづくりの要となる業務運営であり、文化財に関する ことは、産業観光関係で充実推進する。観光の目玉とし ての文化財、更にはスポーツ振興政策はこれからの不離 一体と考えます。新たな教育委員会の充実と生涯学習分 野等の活性化は、これからの「文教のまち西原町」の発 展に寄与すると確信します。見解を伺いたい。</p> <p>(2) さわやか「トイレ」改善について 各小中学校の「トイレ」の95%が「和式トイレ」です。 多くの保護者・子供達から「不便で気分が悪くなる」と の意見があります。特に女子トイレについては可哀想で す。早急に「洋式トイレ」への改善を要望したい。</p> <p>(3) 学校現場での事故対応について 2012年3月に体育の授業での事故で「脳脊髄液減少症」 を発症し、未だ県外での治療を余儀なくされている。保 護者の負担、補償について「結論が出ていない」との事。 事故の原因、さらに補償等について教育委員長は、どの 様に考えているか。見解を伺いたい。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>3 役場のサービス業の充実を求めて</p>	<p>(1) 県の重点的権限委譲項目の、観光交流パッケージにある 「一般旅券の申請受理及び交付の処理」つまり、パスポ ート手続きの件ですが、嘉手納町、読谷村、北谷町等は 行っている。西原町のサービス化は、どの様に考えてい るか。</p> <p>(2) 自動車臨時許可、番号標の取り扱いを早急に実施し、 町民の利便性を図って欲しい。他市町村の状況はどの様 になっていますか。特に南風原町の状況はどうですか。</p>	<p>町長</p>

<p>4 子供たちの安全を守る道路対策について</p>	<p>(3) 自動交付機設置での住民サービスについて。 ア. 町民が、夜間、土日等で住民票等の交付サービスが受けられる交付機を「新庁舎において検討する」事だった。今後の対応を伺いたい。 イ. 那覇市や南風原町で実施されている、コンビニ交付サービスも住民が望んでいる。どのように取り組みますか。</p> <p>(1)子供たちの登下校時の通学路におけるガードレール・河川・カーブミラー等の対応を伺いたい。</p> <p>(2)国道 329 号内間 89 番地あたりの歩道柵が錆びて朽ち果てた状況である。また、柵の幅も広く、子供たちが滑り落ちかけました。新たな歩道柵は設置出来ませんか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p style="text-align: center;">質 問 者 大 城 誠 一 議 員 質問の相手</p>		
<p>1 地域活動支援センター事業の取り組みについて</p> <p>2 改正児童福祉法の設立に伴う町行政の取り組みは</p>	<p>本事業は、平成 25 年度まで「地域活動支援センターさんさん」に委託されていた。しかし「NPO 法人さわふじ」が 3 月末で解散したことにより新たな受託先を選定して該事業を行う必要があるのでは。</p> <p>(1)これまで地域活動支援センターさんさんに通所していた利用者の入所先の状況について聞く。また、利用者から地域活動支援センター開所に関する要望はないのか。</p> <p>(2)また、地域活動支援センターには、Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型があると聞いているが、それぞれの事業内容について伺う。</p> <p>(3)近隣市町村における地域活動支援センターの運営状況は。</p> <p>(4)本町は、Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型のうちどの事業を導入する方向で検討しているか。また委託先などの選定は行っているのか。</p> <p>改正児童福祉法は 2012 年 8 月 10 日に国会で可決・成立した。政府はこの制度を 2015 年 4 月 1 日から施行する予定である。改正児童福祉法の主なものは、①対象児童が留守家庭 10 歳未満の児童から留守家庭の小学生まで拡大したこ</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

	<p>と②設備及び運営基準について、これまで特段の定めがなかったが、市町村は国の定める基準に従い条例で基準を定める必要があること③放課後児童健全育成事業を始める事業所は、市町村に開始後1ヶ月以内の事後届出であったのが、事業開始前の事前届出となったことである。</p> <p>学童保育は、働く親を持つ小学生の放課後、長期休業日の毎日の生活を保障する子育て施設として重要である。放課後児童クラブについては市町村が条例を制定して、対象児童の拡大、設備及び運営基準の策定など市町村の積極的な取り組みが義務付けられている。</p> <p>町当局の取り組みについて伺う。</p>	町 長
3 道路交通網の整備について	<p>(1) 国道329号バイパスの延伸の早期実現を図ることにより、小那覇地区の産業ゾーンと東崎工業地帯のアクセスが改善されること、中城村方面329号線に接続することにより円滑な交通の流れが確保される。これが実現すると、本町の基幹産業である工業振興・発展に大きく貢献する。本件については産業界や多くの町民から切望されながら実現していない。早期実現に向けての町長の決意は。</p> <p>(2) 本町中心核に庁舎等複合施設が完成し5月7日の業務開始からすでに1ヶ月が経過した。該施設については、コンパクトで多機能的な建物、免震構造を採用し災害に強い建物、太陽光発電を設置した自然環境にやさしい建物などと町内外から多大な評価を受けており、町民の1人として誇らしく思っている。しかしながら、庁舎までのアクセス道路の整備が遅れている。事故のない安全・安心な交通網を確保するうえからも周辺道路の整備を早期に取り組む必要がある。</p> <p>ア. 町道与那城・呉屋線は道路幅員が狭いうえ舗道が整備されてない箇所があり、危険な通学路となっている。そこで町道東崎兼久線延伸部分である国道329号兼久交差点から西原小学校入口までの街路整備事業完成までの工事スケジュールについて聞く。</p> <p>イ. 西原町マスタープランでは、シンボルロードはマリントンウンから中心核、文教ゾーンを結ぶ町の「顔」として重要な道路であることから、地区レベル幹線道路</p>	町 長

	<p>としての機能だけでなく歩行者が歩いて楽しい緑豊かな空間作りを促進するとある。そこで町民が心待ちにしているシンボルロードの整備計画について伺う。</p>	町	長
<p>4 東海岸地域活性化のための MICE 施設誘致について</p>	<p>MICE 施設については、県が整備を予定していて、豊見城市や宜野湾市等が誘致を県に要請している。本町においても、東海岸地域の発展と活性化を図るために与那原町との合同による住民大会をいち早く開催したほか本町議会においても誘致決議を行った。また与那原町商工会は、26 日に開催した通常総代会において「大型 MICE 施設をマリンタウン地域へ誘致する」決議を行っている。</p> <p>誘致を確かなものにするためにも、与那原町と連携して更なる要請行動を行う必要がある。今後町当局はどのような要請行動展開するのか伺う。</p>	町	長
<p>5 自動車臨時運行許可業務について</p>	<p>本業務は未登録自動車車検切れ自動車を運行するために臨時運行許可証（仮ナンバー）の交付を行う業務である。</p> <p>現在町内の自動車設備業者や個人は南風原町や浦添市において交付を受けて未登録自動車の運行を行っている。しかし、両市町で交付を受けるのに当たり移動距離が長い時間がかかることや臨時運行許可書の枚数が不足気味で交付を受けられない場合がある等、不便を困っている。そのため西原町が該業務を実施してほしいとの要望がある。その業務の取り扱いについて町当局の見解は。</p>	町	長
<p>6 飲酒運転根絶運動について</p>	<p>飲酒運転根絶に関しては、西原町議会においても「飲酒運転は絶対しない・させない・ゆるさない」と強い意志を示すとともに、町をはじめ関係機関・団体との連携を強化し、町民一丸となって飲酒運転根絶に向けて取り組むことを宣言する。と 2013 年 9 月 6 日定例議会で「飲酒運転根絶宣言」を行ったところである。しかし、「県教育委員会は酒気帯び運転で逮捕された西原町内の中学校教諭を停職 6 ヶ月処分にした。」との報道があった。</p> <p>(1) 本町教育委員会は町立の学校教職員に対してどのようにして周知を行ったのか。</p> <p>(2) 飲酒運転で検挙された西原町民は 22 年度、23 年度、24 年度、それぞれの人数は。</p>	教育委員長	
		町	長

	(3)飲酒運転根絶に関する今後の効果的な取り組みは。	町 長
質 問 者	宮 城 秀 功 議 員	質問の相手
1 琉球大学医学部の移転について	先日の新聞で知ったが、琉球大学医学部が移転するとの事である。琉球大学医学部が移転すれば西原町は経済的に多大な損害の可能性が大である。西原町はどのように対処するのか伺いたい。	町 長
2 東小で起こった児童の事故について	この件については、委員会を3回も開催して保護者や教育委員会からも説明を受けていますが、どうしても納得が出来ず、本当に因果関係がはっきりしていないのか、教育委員会は何を求めているのか、伺います。	教育委員長
3 農産物直売所及び(法人)西原ファームについて	3月定例会の答弁において「定例会で、充分、論議して検討していく」との事ですが、3月以降の進捗状況について伺います。	町 長
4 一括交付金について	配分額の残額、これから予定している事業等残額の使い道等を伺います。	町 長
質 問 者	大 城 好 弘 議 員	質問の相手
1 農業振興について	<p>(1)耕作放棄地解消の実績を問う。</p> <p>ア. 平成25年度末までの耕作放棄地解消の契約件数、面積、地料の総額、手続きについて</p> <p>イ. 実質耕作面積、ビニールハウス、平張ハウス農地件数と面積について</p> <p>ウ. 個人農地借地料が1年以上延滞になっているとのことですが、件数とその理由と対応について</p> <p>(2)(株)西原ファームについて</p> <p>ア. 平成24年度・25年度の決算について損益の額</p> <p>イ. 経営に当たり、従事者の人数と内容について</p> <p>ウ. ビニールハウスのリース料、農地借地料の額</p>	<p>町 長</p> <p>農業委員長</p> <p>町 長 農業委員長</p>

	<p>エ. (株)西原ファームの資産等について</p> <p>オ. 品目別生産額について</p> <p>カ. 総経費に対する採算点・生産額について</p> <p>(3)町外者に2件のビニールハウスの貸し出しがあるとのことですが、その詳細の説明を求める。</p> <p>(4)農地法違反について</p> <p>ア. 農地法違反の現況の報告を求める</p> <p>イ. 翁長 1436-1 番地の農地の現況について、事業所のヤードとして使用され土砂廃材の埋め土がされておりますが、その対応について</p>	<p>町 長 農業委員長</p> <p>町 長 農業委員長</p>
<p>質 問 者 喜 納 昌 盛 議 員</p>		<p>質問の相手</p>
<p>1 上原、棚原、土地区画整理事業について</p>	<p>(1)換地処分計画は予定通り進めているか。</p> <p>(2)町名・地番変更決定され、土地も新しい番地、住所も新しい住所になる。併せて、分筆も行われるのか。</p> <p>(3)住居表示は法令で定められているのではないのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 琉球大学医学部と医学部附属病院の移転問題について</p>	<p>(1)事前に何時、何処で、どの様な説明等があったのか。</p> <p>(2)琉球大学が那覇市首里から移転する時、西原町と協定書等を取交わしていないか。特に医学部と、医学部附属病院については、その特殊性から何らかの取り決めがなされてきたと思うが。</p>	<p>町 長</p>
<p>3 自治会関連について</p>	<p>(1)新たな自治会公民館等の新・増改築等の動きはないか。今までは、自前、あるいはコミュニティ助成金を活用しての対応であったが今後、一括交付金の活用を積極的に考えるべきと思うが。</p> <p>(2)千原自治会が今年の4月1日から新たな出発をした。同じ西原の町民でありながら最も疎外された地域といっても過言ではないと思う。ぜひ町当局は新たに団結を強め出発した千原自治会にできる限りの助力を求めたい。</p>	<p>町 長</p>

	<p>ア. 防災無線の設置状況とその効果は十分か。</p> <p>イ. 公民館、自治会事務所の建設は今後の大きな課題だがその用地等について配慮できないか。</p> <p>(3)自治会の節目等の記念事業への助成金等は何に基づいてなされているのか。他にも活用できるものがあるか。</p>	町	長
質 問 者	前 里 光 信 議 員	質問の相手	
1 町政について	<p>(1)新庁舎での業務は以前と比べ効率の良い状況にあるか。町民へのサービスは向上したと理解されているか。</p> <p>(2)新庁舎周辺道路の設備について具体的に説明願いたい。例えば小波津地域からの場合どうするのか。</p> <p>(3)公共下水道事業について</p> <p>ア. 現在の接続率は何%になっているか。</p> <p>イ. 坂田ハイツ地域の実情はどうなっているか(以前自治会長から要請あり)今後の方向性及び可能性についても質問します。</p> <p>(4)小波津川の整備は、県と町の事業は計画どおり進んでいるか。</p> <p>(5)沖縄キリスト教学院大学周辺道路の整備は、いつ頃実施されるか。その工法についても説明を求めます。</p> <p>(6)シルバー人材センターの育成は重要であるが、今後自立に向けた支援はどうなっているか。</p> <p>(7)名誉町民制度の実施は町民に高く評価されていると思われる。今後の計画はあるのか。</p>	町	長
		町	長
		町	長
		町	長
		町	長
		町	長
		町	長

<p>2 教育行政について</p>	<p>(1)2012年3月西原東小学校の体育の授業中起きた事故について</p> <p>ア. 全国町村会総合賠償補償保険で過去に同じケースでの補償は例があるか。それはどのようなものか。</p> <p>イ. 国際医療福祉大学熱海病院での治療等の支払いはどうするのか。</p> <p>ウ. 毎日 OS 1 (オーエスワン) 等の飲物も欠かせないと云う。家族の支払(負担)にも限界があり、町教育委員会はどのようにしているか。責任ある補償は家族に示せるか。</p> <p>(2)3 世代交流施設の建設はどうなっているか。</p> <p>(3)去る3月に卒業した町内2中学校の卒業生の進路について質問します。 進学状況及び就職はどうなっているか。</p>	<p>教育委員長</p> <p>町 長</p> <p>教育委員長</p>
<p>質 問 者 上 里 善 清 議 員 質問の相手</p>		
<p>1 道路行政について</p> <p>2 農産物直売所について</p>	<p>県道 329 号バイパスを小那覇の工業専用地域まで延伸する話がありましたが、現在の進捗状況と同計画は、どの様になっているかお伺いします。</p> <p>農業振興の要として、直売所の設置は重要な課題ではありますが、肝心の商品が充分確保できるか心配しております。担い手の状況を調査する必要があると思っておりますが、以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1)現在の就農者人数と年齢別割合</p> <p>(2)新規就農者数</p> <p>(3)農産品の商品別割合</p> <p>(4)直売所設置の再考</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>3 教育行政について</p> <p>4 マイス施設について</p>	<p>坂田小学校の過密化問題は、多くの議員から指摘されており、児童生徒の健全な教育環境を考えると早期改善が必要であります。西原西地区の土地区画整理事業も進み、新たに幸地地区を含めた区画整理事業も計画されており、児童数の増加が考えられます。そこで以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1)坂田小学校の児童数予測</p> <p>(2)改築計画の状況</p> <p>(3)分離校の設置は考えていますか</p> <p>琉球大学医学部の移転が現実味をおびてきており、町の重要施設が無くなる事に落胆しております。施設の老朽化、狭隘化の問題もあり大学側も苦渋の決断だったと思います。西原町のシンボリックな施設が1つ無くなる事でもあり、新規の施設として期待されているマイス施設の誘致は是非、成功させていきたいと思いますが、現在の状況はどのような様になっているかお伺いします。</p>	<p>教育委員長</p> <p>町長</p>
<p>質 問 者 有 田 力 議 員 質問の相手</p>		
<p>1 町行政について</p> <p>2 教育行政について</p>	<p>(1)琉球大学医学部附属病院と琉大医学部が西普天間へ移動するとの報道があった。町長の所見を伺う。</p> <p>(2)西普天間へ移転となった場合、本町にとってどのような影響が出ると考えられるか。</p> <p>(1)西原東小学校で体育の授業中に起きた事故で「脳脊髄液減少症」を発症した被災児童の現状について伺う。</p> <p>(2)保険適用外の自費診療費や通院費の負担は家族にとって非常に大きい。直近時点における診療費等の支払い額を教育委員会は把握しているか。又、被災児童が完治するまでの費用に対して、町として対応をどう考えるのか。</p> <p>(3)被災児童の1日も早い元の元気な身体に回復させる為に町として何をすべきと考えるか。</p>	<p>町長</p> <p>教育委員長</p>

3その他	<p>(4) 去る5月22日の文教厚生常任委員会で被災児童の保護者から「西原町で二度と同じ事故が起こらないよう、起きたとしても的確な対応が取られ重症化を防げるよう脳脊髄液減少症の理解を深めてほしい。」その為に、専門家を招いた研究会の開催など町を挙げた啓発の取組みを求められた。当局の考えを伺う。</p> <p>(5) さわふじの詩の歌碑建立に向け準備委員会が立ち上げられている。教育委員会の対応について伺う。</p> <p>(1) 答弁の検証について</p> <p>ア. 内間・小橋川線と小橋川・上原線の三差路地点における、カーブミラーの増設もしくは街灯の増設にかかる再調査の結果について伺う。</p> <p>イ. 小橋川4号線の勾配ヶ所におけるすべり止め舗装の検討結果について伺う。</p>	教育委員長 町 長
<p>質 問 者 大 城 清 松 議 員 質問の相手</p>		
<p>1 坂田小学校の過密化について</p> <p>2 徳佐田・幸地地区について</p> <p>3 新庁舎について</p>	<p>現在進行中の校舎建て替えについて、進捗状況をお聞かせ下さい。</p> <p>徳佐田・幸地地域の現在の進捗状況は、住民説明会は、高速フルインターは進展がありましたらお聞かせ下さい。</p> <p>新庁舎の建築工事は地元企業優先で施工されたことと思います。しかし、下請けの皆様から地元の下請け業者はあまり貢献できなかったとの声があります。新庁舎の工事に携わった地元業者は何業者ですか、地元以外の業者は何業者ありましたか、資料が有りましたらお聞かせ下さい。</p>	<p>教育委員長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者 長 浜 ひ ろ み 議 員 質問の相手</p>		
1 新庁舎について	(1) 障がい者にもやさしいバリアフリーの新庁舎の障がい者優先の駐車場の屋根はいつ取り付けられるか。	町 長

2 電子黒板の利用状況	(1)各小中学校の納入台数。 (2)利用状況の評価は。	教育委員長
3 琉大医学部移転について	(1)琉大医学部移転が完了した場合、町の水道料売上げ収入減の見込み額は。	町 長
4 企業用ゴミ袋の導入について	(1)企業用ゴミ袋の導入について全企業へ説明会を開いているが参加できなかった企業へはどのように説明してきたか。 (2)これまでも収集業者へ支払い二重の負担となっているが。	町 長
5 脳脊髄液減少症について	(1)事故発生から2年余、未だに保障問題で保護者は不安を感じている。町の誠意ある対応とは被災児童の立場にたった対応であると考えているが。 ① 委員会で「琉大で治っている。自分たちがかつてに熱海に行った」 ② 保障は、全国町村会総合賠償補償保険から出ます。町からはできません。 ③ 体育の授業中に起きた事故なので、町の責任は認めますが脳脊髄液減少症との因果関係は認めていません。 等これらが町の誠意ある対応なのか。 (2)何人も公務員の不法行為により、損害をうけたときは、法律の定めるところにより、国又は公共団体にその賠償を求めることができる。 「法律上その義務に属する損害賠償の額を定めること。」とあります。町も責任があると認めるのなら損害賠償するべきではないか	教育委員長
質 問 者 城 間 義 光 議 員 質問の相手		
1 農業の振興について	(1)耕作地放棄対策事業について (2)農産物直売所の進捗状況について	町 長

2 国保事業について	(3)都市近郊農業について、西原町はどう考えるか。 (1)累積赤字の解消対策をどう考えるか。	町 長 町 長
<p style="text-align: center;">質 問 者 伊 礼 一 美 議 員 質問の相手</p>		
1 子育て支援について	(1)西原町子ども・子育て支援事業計画策定の進捗について伺う。 (2)子育て支援事業は、予定通り平成27年度から施行するの か (3)子育て支援法のもとでは、保育や幼児教育を受ける場合、 保護者は町の認定を受けることになる。町の認定を受けた すべての子どもたちは必要な保育を受けられるのか。 (4)町内の保育事業で大きな役割を果たしている認可外保育 施設への支援をどのように考えているのか。	町 長
2 小波津川改修について	(1)小波津川南北線沿いに植栽が予定されていると考えますが、 樹木はさわふじを提案するものです。新庁舎前方を流 れている兼久川沿いに植えられているさわふじが見本に なる。 (2)小波津川の洪水の記録を残し、災害教育に活用するため に小波津川に災害遺構を提案します。 (3)新庁舎玄関進入路(兼久川)の「ちわばし」の「ちわ」の 説明版が必要だと思うが。	町 長
3 ごみ減量について	(1)ごみの減量について、どのような施策がとられているの か。 (2)もえるごみに出されている厨芥類の減量対策はどうなっ ているのか。	町 長
4 農業振興について	西原の経済発展にとって、耕作放棄地を解消し、農業振興 を図ることが緊急に求められている。 (1)耕作放棄地の面積はいくらか。	町 長

<p>5 平和行政について</p>	<p>(2)再生された農地面積はいくらか。</p> <p>(3)利用されている再生農地面積はいくらか、また、そこに就農している方は何名か。</p> <p>(4)再生事業を推進し、就農者を導入するために、強力な事務局の設置は不可欠である。事務局を設置する考えはないか。</p> <p>西原町史「西原の戦時記録」から見た安倍政権がすすめる「戦争する国づくり」について</p> <p>(1)記録されている沖縄県内と西原町内の不発弾処理件数はいくらか。</p> <p>(2)町内の不発弾処理に係る費用はいくらか。 交付税借置を含めての一切の費用を総計したもの。</p> <p>(3)戦場にさせられた西原の住民は安倍政権がすすめている戦争する国づくりの「集団的自衛権行使容認」は認めないと思うが上間町長の見解を問う。</p> <p>(4)平和なふるさとをこどもたちにわたすために上間町長が仮称「沖縄県首長9条の会」の結成を呼びかけられてはと思うがどうでしょうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者 伊 波 時 男 議 員 質問の相手</p>		
<p>1 琉球大学医学部附属病院移転について</p>	<p>(1)2014年5月28日の新聞報道の中で、2015年に返還が予定される米軍キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区約51ヘクタールに琉球大学医学部と附属病院を移転する計画が進められていると報道されているが。</p> <p>ア. 町当局は上記移転計画をいつごろどのような形で知らされたか。</p> <p>イ. 移転が決定した場合、「文教のまち西原」にどのような影響が考えられるか。</p>	<p>町 長</p> <p>教育委員長</p>

	<p>ウ. 移転に伴う西原町に経済的な損失はいかほどになるか誠算は。</p> <p>エ. 町民をはじめ町長も移転をふみとどまってほしいと思うが今後の対応は。</p>	町	長
2 行政執行について	(1) 平成 26 年度一括交付金取り組みと進捗状況は。	町	長
3 土木行政について	<p>(1) 県道浦添・西原線の拡幅工事における町道整備等の説明会の内容と参加者の意見等は。</p> <p>(2) 高速道路より新設のフルインターチェンジは盛土工事法か、又は桁橋工法なのか。</p> <p>(3) 土砂災害における新ガイドラインでの西原町の取り組みと、災害地域の指定と対応は。</p>	町	長
質 問 者		質問の相手	
仲 宗 根 健 仁 議 員			
1 青少年の健全育成について	毎月第 3 金曜日の「少年を守る日」、夏休み期間は毎週金曜日に夜間巡回指導を行っているが、青少協から各課への参加割り当てがあるにもかかわらず、行政側からの参加者が余りにも少なすぎる。どのように思うか。		教育委員長
2 琉大病院の移転問題について	<p>(1) 琉球大学医学部と附属病院の移転問題についてマスコミで取り上げられていました。どのように思うか。</p> <p>(2) 移転が避けられないとすれば、跡地利用をどのように考えるか。</p>	町	長
3 国道 329 号バイパスの延伸について	「国道 329 号バイパス」延伸の調査費が付いたとの話を聞いたが詳細を伺いたい。	町	長
4 大型 M I C E 施設の誘致について	西原・与那原両町で大型 M I C E 施設誘致住民大会を行いました。誘致を実現するために今後も引き続き住民大会等の大きなイベントを開催する必要があると考えるがどのように思うか。	町	長

<p>5 中央公民館の将来について</p>	<p>(1)平成24年度に6,084万7,500円をかけて中央公民館の改修事業を行ったが対応年数は。</p> <p>(2)新庁舎も完成し、財政的にも厳しい中ではあるが将来への対応に着手しなければいけない時期に来ていると思うが、どのように思うか。</p> <p>(3)坂田地区には学校・保育施設を除いて公共施設が皆無に近い状況である。町長は大型MICE施設の誘致に関し、西高東低の話もしているが、町内では全く逆の一極集中である。改築の時期にあっては、歴史・民族資料館を併設して坂田地区への移転を要望するが、どのように思うか。</p>	<p>町長 教育委員長</p>
-----------------------	---	---------------------